

令和6年12月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

令和6年12月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	令和6年12月24日（火） 午前10時30分 開会
場 所	新潟市役所ふるまち庁舎4階 教育会議室1
日 程	<p>第1 会議録署名委員の指名</p> <p>第2 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年12月議会定例会の追加議案について・・・・・・・・・・ 1 ・令和6年度全国体力・運動能力、 運動習慣等調査について・・・・・・・・・・ 5 ・公立夜間中学に関するニーズ調査の結果について・・・・・・・・ 9 <p>第3 次回日程</p> <p>1月定例会 令和7年1月29日（水）午前10時30分</p> <p>第4 閉会</p> <p>第5 協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新・新潟市教育ビジョン（案）について・・・・・・・・・・ 別冊

報 告

令和6年12月議会定例会の追加議案について

令和6年12月議会定例会の追加議案について、緊急を要し教育委員会会議を開催する暇がないため、教育長が臨時に代理しましたので報告します。

(1) 令和6年度新潟市一般会計補正予算について

施設課

【事業費補正】

1 学校改修事業

(1) 事業概要

工事発注や施行時期の平準化により工事を行うことで、公共工事の品質確保につなげ、教育環境の向上を図ります。

(2) 一般会計予算補正額

<各事業対象校>

●大規模改造事業：7学校（小学校4校、中学校3校）

小学校：葛塚、中野山、新津第二、新津第三

中学校：山潟、新津第五、内野

●学校施設エコスクール化推進事業（トイレ洋式化）：13学校（小学校6校、中学校5校、

高等学校2校）

小学校：東山の下、関屋、鳥屋野、丸山、横越、亀田西

中学校：南浜、東新潟、上山、新津第一、内野

高等学校：万代、明鏡

●照明設備LED化推進事業：21学校（小学校8校、中学校11校、高等学校1校、

特別支援学校1校）

小学校：木崎、女池、南万代、横越、亀田東、亀田西、新津第三、山田

中学校：早通、東新潟、大形、白新、上山、亀田西、新津第一、小新、巻東、巻西、高志中等

高等学校：明鏡

特別支援学校：東

●増改築事業：1学校（中学校1校）

中学校：東新潟（エレベーター設置）

●緊急修繕事業(改修)：7学校(小学校5校、中学校2校)

小学校：早通(衛生・受変電設備)、上所(校舎屋上防水)、紫竹山(体育館屋根)、東曾野木(体育館外壁)、結(校舎外壁)

中学校：宮浦(体育館屋根)、巻西(体育館屋根)

●非構造部材耐震化事業：1学校(小学校1校)

小学校：小須戸(ガラスブロック改修)

歳出の部	5, 1 1 0, 6 0 0千円
大規模改造事業	3, 0 5 1, 7 0 0千円
エコスクール化推進事業	6 0, 4 0 0千円
LED化事業	1, 4 4 0, 1 0 0千円
増改築事業	1 3 6, 1 0 0千円
老朽校舎等改修事業	4 0 9, 6 0 0千円
非構造部材耐震化事業	1 2, 7 0 0千円

歳入の部	5, 1 1 0, 6 0 0千円
国費	1, 1 2 2, 3 0 0千円
起債	3, 9 8 8, 3 0 0千円
一般財源	0千円

繰越明許費設定	5, 1 1 0, 6 0 0千円
----------------	--------------------------

(2) 財産の取得（追認）について

学 務 課

《概 要》

令和2年度に購入した小学校の教師用教科書・指導書について、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」に定める予定価格4,000万円以上の財産の取得に該当していたにもかかわらず、議決を経ずに購入していたことが判明しました。

このたび、令和6年12月市議会定例会において、当該財産を買い入れたことについて、追認の議決を得ましたので報告します。

《取得した財産の契約内容》

- ◎財産名 令和2年度小学校教師用教科書・指導書
- ◎数量 教科書4,490冊、3,691冊
- ◎契約金額 41,124,118円
- ◎相手方 新潟市中央区西堀通4番町824番地 後藤書店

《教師用教科書・指導書の購入について》

教科書は4年に1度採択替えがあり、その都度教師用教科書・指導書の購入も行う。

これまでは、学校ごとに取扱書店と契約を締結していたが、令和2年度は、複数の学校をまとめ、取扱書店ごとに契約を締結していた。

そのうち1件が4,000万円以上の議決に付すべき契約であったが、議会に諮ることなく契約を締結していた。

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
小学校		購入				購入				購入
中学校			購入				購入			

《再発防止策》

◎契約事務の理解を深めるため、根拠法令や注意事項(チェックポイント)などをマニュアルに追加する。

◎契約部門のチェック体制が働く仕組みを全庁で考えていく。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

1 調査の目的

子どもの体力の状況を把握・分析することと、その改善を図る。

2 調査の対象となる児童生徒

国・公・私立学校の以下の学年を原則として、全児童生徒を対象

(1) 小学校調査 小学校、特別支援学校小学部 第5学年

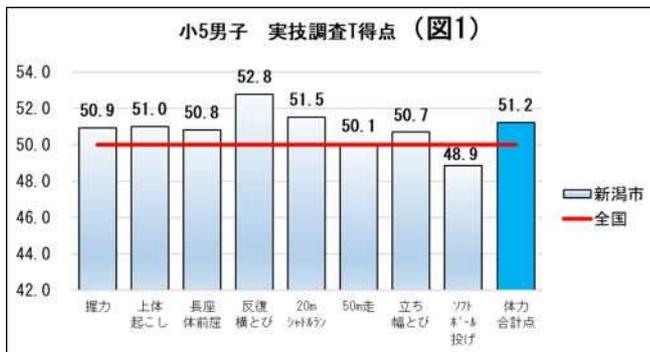
(2) 中学校調査 中学校、中等教育学校、特別支援学校中学部 第2学年

3 調査事項

実技に関する調査、質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

4 令和5年度新潟市調査結果概要

(1) 小学校5年生 実技 ※ () は昨年度順位

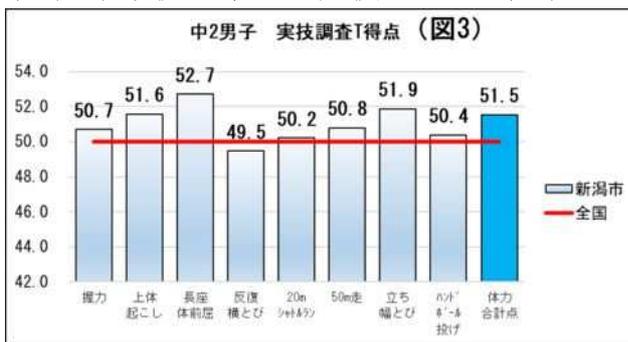


〔政令指定都市別〕全国1位 (1位)

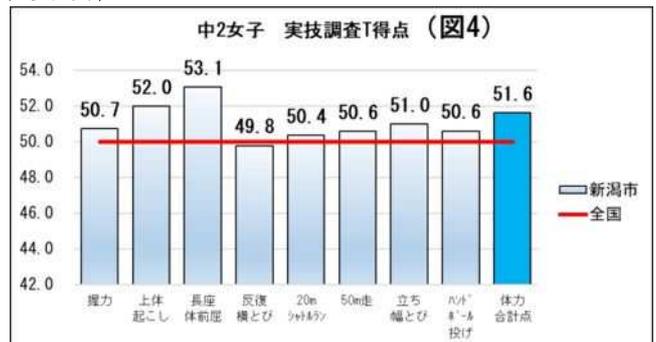


〔政令指定都市別〕全国1位 (1位)

(2) 中学校2年生 実技 ※ () は昨年度順位



〔政令指定都市別〕全国2位 (1位)



〔政令指定都市別〕全国2位 (2位)

※中学校2年生では、シャトルランを持久走に置き換えて実施してもよいこととなっているが、本市では全中学校が体力テストでシャトルランを行っている。

(3) 児童・生徒質問紙調査

①本市が全国平均を上回っている質問項目

- ・運動やスポーツへの好感度
- ・朝食を毎日食べている割合
- ・ICT活用により運動の仕方がわかる、できると実感している児童生徒の割合

②本市が全国平均を下回っている質問項目

- ・体育・保健体育の授業は楽しいと答えた割合（小5男子女子・中2男子女子）
- ・運動、食事、睡眠を意識した生活を送っている割合（中2男子）

(4) 学校質問紙（新潟市の取組の実態）

①自校の体力面の課題を焦点化し、計画的に体力向上ジャンプアップを実施（取組例）

- ・校内で実技講習会を設定し、指導方法や授業マネジメントについて検討
- ・体育的行事や児童会・生徒会活動とタイアップし、運動機会を拡充
- ・健康増進・生活リズム改善のために、中学校区全校で共通した取組を実施

②体育授業指導者研修会を行い、教員に指導法や理論を伝達

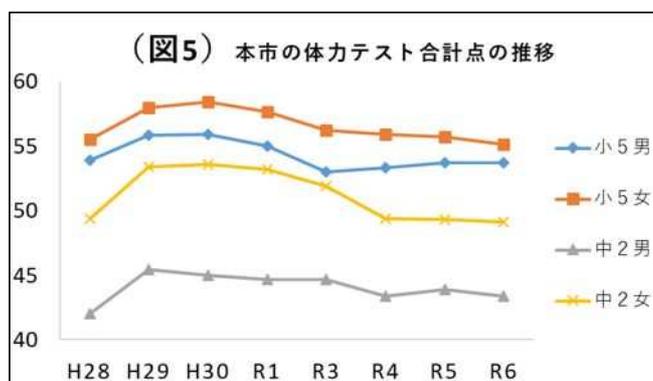
③体育や保健体育の授業での多様な方法でのICT端末利用

5 調査結果から

政令指定都市における順位や体力テスト合計点の全国平均と比較すると、新潟市は上位に位置している。（資料1）しかし、コロナ前と比較すると小中男女とも体力得点は低い傾向にある。（図5）

「運動やスポーツをすることが好き」の割合が、全てのカテゴリーで全国平均

を上回っている。各校において、体育・保健体育授業をはじめ、教育活動全体で児童生徒が運動やスポーツに親しむ場面を整えているためである。しかし、「体育・保健体育の授業は楽しい」の割合が、全てのカテゴリーで全国平均を下回った。「体育・保健体育授業では、進んで学習に参加しているか」では、小学校男女、中学校男女すべてで全国平均を上回っていることを考えれば、さらなる授業改善が必要である。「できる」「わかる」の授業を目指しながら、「楽しさ」を実感できる授業づくり研修会を開催し授業改善を図っていきたい。



令和6年度 政令指定都市別 体力テスト合計点※1(速報)

()は、昨年度の合計点

	小学校5年男子		小学校5年女子		中学校2年男子		中学校2年女子	
1	新潟市	53.72 (53.74)	新潟市	55.13 (55.72)	千葉市	43.56	千葉市	50.08
2	北九州市	53.10	北九州市	54.32	新潟市	43.38 (43.92)	新潟市	49.13 (49.35)
3	京都市	52.73	静岡市	54.06	北九州市	43.31	静岡市	49.05
4	神戸市	52.54	千葉市	54.05	静岡市	43.18	北九州市	48.44
5	千葉市	52.48	浜松市	53.71	岡山市	42.69	浜松市	48.40
6	福岡市	52.48	さいたま市	53.61	熊本市	42.37	大阪市	47.51
7	仙台市	52.42	仙台市	53.48	仙台市	42.35	さいたま市	47.31
8	熊本市	52.38	神戸市	53.16	浜松市	42.34	熊本市	46.95
9	さいたま市	52.25	熊本市	53.15	広島市	41.36	岡山市	46.94
10	静岡市	52.04	京都市	52.95	京都市	41.31	京都市	46.38
11	岡山市	51.86	広島市	52.78	福岡市	41.29	広島市	46.34
12	広島市	51.78	岡山市	52.63	大阪市	41.10	福岡市	45.97
13	浜松市	51.64	大阪市	52.47	さいたま市	40.93	仙台市	45.79
14	川崎市	51.57	福岡市	52.43	堺市	40.89	川崎市	45.75
15	札幌市	51.51	川崎市	52.33	相模原市	40.58	堺市	45.34
16	横浜市	51.44	相模原市	51.94	川崎市	40.03	神戸市	45.20
17	大阪市	51.13	札幌市	51.88	横浜市	39.93	相模原市	44.35
18	相模原市	51.03	横浜市	51.79	札幌市	39.63	横浜市	44.24
19	堺市	50.88	堺市	51.62	神戸市	39.47	名古屋市	44.23
20	名古屋市	50.42	名古屋市	51.58	名古屋市	38.89	札幌市	42.29

※1 体力テスト合計点…各種目の記録を点数化し、合計した点数の合計点

参考 新潟市体力テスト合計点の推移

* 赤色セルは、H28以降で最高値

	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6
小5男	53.93	55.84	55.89	55.03	53	53.35	53.74	53.72
小5女	55.54	57.98	58.41	57.68	56.26	55.92	55.72	55.13
中2男	42	45.42	44.97	44.65	44.7	43.4	43.92	43.38
中2女	49.41	53.42	53.61	53.21	51.91	49.36	49.35	49.13

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

資料 2

※数字は、全国平均を下回った項目

【児童・生徒質問紙】		設問1 運動やスポーツをすることが好き	設問2 朝食を毎日食べる	設問3 体育・保体の授業は楽しい	設問4 目標を意識した学習で、できたり分かったりする	設問5 友達と助け合ったり教えあったりする学習で、できたり分かったりする	設問6 ICTを使って学習すること、できたり分かったりする	設問7 保健で学んだ運動、食事、休養および睡眠に気をつけた生活を送っている
小学校 5年男子	全国	93.3%	81.3%	94.6%	83.7%	84.4%	57.2%	83.1%
	新潟市	93.9%	83.5%	93.5%	83.7%	86.3%	69.6%	84.8%
小学校 5年女子	全国	86.2%	79.5%	90.0%	82.6%	86.1%	58.3%	83.2%
	新潟市	87.2%	82.9%	89.8%	83.7%	87.7%	71.3%	85.9%
中学校 2年男子	全国	90.3%	81.7%	91.4%	86.3%	88.6%	65.6%	85.3%
	新潟市	91.5%	88.0%	91.2%	89.2%	91.1%	75.3%	81.2%
中学校 2年女子	全国	76.8%	74.5%	83.7%	84.2%	89.2%	62.5%	69.9%
	新潟市	78.5%	81.6%	82.3%	87.8%	92.0%	74.4%	74.7%

* 中学女子の「運動やスポーツが好き」の数値が昨年度より4.4%アップし、全国平均を上回った。着実に中学校で授業改革が推進されている。

* 全カテゴリーで「体育・保体の授業は楽しい」が全国平均を下回った。児童生徒が主体的に「できる」「わかる」授業を目指すとともに、「楽しさ」を実感する授業づくりをさらに求めていく。

【学校質問紙】

【学校質問紙】		設問1 児童生徒の体力・運動能力向上のための学校としての目標を設定している	設問2 体育・保体の授業で話し合う活動全ての学年で行っている	設問3 体育・保体の授業でICT活用している(毎時間～1週間に1回以上)	設問4 運動・スポーツが苦手な児童生徒への指導充実のための取組の実施している(特にしていない以外)	設問5 研修等に参加し、自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映している	設問6 健康三原則の大切さを児童に様々な場面で適宜伝えていく	設問7 体育授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行っている
小学校	全国	90.0%	65.4%	42.4%	94.2%	80.7%	93.4%	86.8%
	新潟市	91.3%	71.2%	58.6%	95.2%	81.7%	95.2%	79.8%
中学校	全国	90.3%	49.3%	56.2%	95.1%	82.0%	97.1%	49.3%
	新潟市	94.5%	63.7%	74.6%	98.2%	87.3%	100.0%	63.7%

※例年、学校で「体力向上ジャンプアップ」の計画に基づいて目標を設定し、授業等を通じて児童生徒の体力向上に取り組んでいる学校が多い。

※授業で適宜ICTを有効活用しながら、運動が苦手な児童生徒にも応じた授業づくりを行っている。今後さらに活用例等の情報を提供したり共有の機会を設定したり

公立夜間中学の設置について

令和6年12月24日
教育委員会定例会(報告)
教育総務課

1 現状

新潟市の現状

- 新潟市の未就学者数311人、最終卒業学校が小学校の者の数8,405人 (20政令市で5番目に多い) ※令和2年国勢調査より
- 新潟市立中学校における不登校生徒の増加 (平成25年度527人、令和5年度1,391人) **+2.64倍**
- 外国人住民の増加 (平成25年度4,549人、令和6年10月7,046人) **+1.55倍**

国の動向

- 菅内閣総理大臣答弁 (令和3年1月25日衆議院予算委員会)
夜間中学は、高齢の方や不登校経験者など、十分な教育を受けられなかった方々に対して、また、日本で生活する外国の方々を受け入れる重要な役割を果たしていると認識しております。
引き続き、夜間中学の教育活動を支援するとともに、**今後5年間で全ての都道府県・指定都市に夜間中学が少なくとも1つ設置される、このことを目指し、全国知事会や指定都市市長会の協力を得て、取り組んでいきたい、**このように思っています。

- 教育振興基本計画 (令和5年6月16日閣議決定)

夜間中学の設置・充実
・学齢経過者であつて小・中学校等における就学の機会が提供されなかつた者の中に、就学機会の提供を希望する者が多く存在することを踏まえ、夜間中学の設置を促進するとともに、夜間中学における就学機会の提供等の措置を講ずる。具体的には、夜間中学は義務教育未修了者に加え、外国籍の者、入学希望既卒者、不登校になつている学齢生徒等の多様な生徒を受け入れる重要な役割を担っていることから、**教育機会確保法等に基づき、全ての都道府県・指定都市に少なくとも一つの夜間中学が設置されるよう促進する**とともに、夜間中学の教育活動や広報の充実、受け入れる生徒の拡大を図るなど、教育機会の確保等に関する施策を総合的に推進する。

【指標】

- ・夜間中学の設置数の増加 (5年度目標値：全都道府県・指定都市への設置)

全国の設置・検討状況

令和6年10月時点で**32都道府県(19)・指定都市(13)に53校設置**。

～今後の設置予定～

●令和7年度

7県・2指定都市 (石川県、愛知県、名古屋市、三重県、滋賀県湖南市、岡山市、和歌山県和歌山市、長崎県佐世保市、鹿児島県) が設置予定

⇒41都道府県(26)・指定都市(15)に62校

●令和8年度

4県(栃木県、愛知県(3校)、和歌山県、福井県) が設置予定

⇒43都道府県(28)・指定都市(15)に68校

●令和9年度

1県(長野県軽井沢町) が設置予定

⇒44都道府県(29)・指定都市(15)に69校

2 本市の方向性 (令和6年2月市議会で説明)

- 不登校生徒や外国人住民が増加する中、様々な背景や将来の希望をもった方々に対し、**ニーズに応えられる新たな取組が必要**
- **義務教育に生涯学習や日本語習得の視点を含めるほか、福祉・雇用施策とも繋がる学校活動など、多様なニーズに柔軟に対応できる体制を整備**
- 夜間中学に付加価値を加え、より市民ニーズに合った「**特色ある夜間中学**」を設置することが望ましい

▶ **ニーズ調査を踏まえ夜間中学のあり方(設置)について検討**

公立夜間中学の設置について

3 公立夜間中学に関するニーズ調査について

調査概要

- 実施期間：令和6年9月17日～10月31日
- 調査対象：新潟市内に在住する「義務教育未修了者、外国籍の方、不登校等による形式卒業者等」（以下、「本人」という）及び本人と関係のある支援者（以下、「支援者」という）
- 対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語、バトナム語
- 回答方法：市ホームページ上にある調査フォームより回答

調査結果

●本人

回答数：23

回答者の国籍：日本 15 外国籍 8（中国3、Bangladesh 1、米国1、台湾1、スペイン1、アイルランド1）

回答者の年代：20～29歳…2、30～39歳…4、40～49歳…6、50～59歳…7、60～69歳…1、70～79歳…1、80歳以上…2

Q.夜間中学があったら通ってみたいですか。

通ってみたい…14 通ってみたいと思わない…8 無回答…1

⇒年代：20～29歳…1、30～39歳…2、40～49歳…4、50～59歳…4、60～69歳…1、70～79歳…1、80歳以上…1

Q.夜間中学に通ってみたいと思う理由を教えてください（複数回答可）

- ・小学校や中学校の勉強をしたいから…10
- ・中学を卒業したが、もう一度勉強しなおしたいから…8
- ・日本語の勉強をしたいから…3

Q.夜間中学に希望することを教えてください。（複数回答可）

- ・入学を4月だけでなく、7月や10月などほかの月でもできるようにしてほしい…12
- ・生活、進学、就職の相談ができるようにしてほしい…11
- ・小学校の勉強もできるようにしてほしい…9

公立夜間中学の設置について

3 公立夜間中学に関するニーズ調査について

●支援者

回答数：38

Q. あなたの周りに夜間中学のことを知らせたいと思う人（たち）がいますか。

身近にいる…13 思いつく人／場所（団体、職種など）がある…11 いない…14

Q. その人（たち）に夜間中学のことを知らせたい理由は何ですか。

- ・ 中学を卒業していないから…1
- ・ 中学は卒業したが、不登校や家庭の事情であまり通うことができず学び直しをしてほしいから…15
- ・ 外国人で中学校段階の知識や技能を身につけてほしいから…4

Q. その人（たち）の年齢を教えてください。（複数選択可）

20歳未満…15、 20～29歳…6、 30～39歳…5、 40～49歳…4、 50～59歳…2

Q. 夜間中学を知らせたい人（たち）は、全部で何人くらいいますか。

1人…8、 2～3人…9、 4～5人…4、 6～9人…2、 10～19人…0、 20人以上…1